

開講学科	建築学科	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		—				
科目名	建築計画Ⅱ	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		2年次	必修	14000401		
担当教員	宮崎 均	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	前期	火曜日	5時限	
授業の教育目的・目標	<p>計画Ⅱでは、居住施設及び居住に関わる施設を中心に以下の点を目標に講義を行う。</p> <p>1. 建築を自ら計画する調査分析力と、計画資料等の理解に十分な能力をつける。</p> <p>① 膨大な量の建築計画に関する理論や手法、データの意味や背景を理解した上で、その応用ができる力を持つ。</p> <p>② 時代と共に変化するニーズに、自ら問題の発見と解決をする力を持つ。場合によっては</p> <p>③ 計画に際し、必要な知見を自ら探求する力を身につけることを目標とする。</p> <p>2. 居住施設、居住に関わる施設に関する計画上の基本知識を学ぶ。</p>					
学科の学修・教育目標との関係	建築設計者・技術者として必要な基礎知識を持っている。					
キーワード	建築計画 住宅 居住施設 計画史 生活の質 計画的知見 ユニバーサルデザイン					
授業の概要	<p>建築計画学とは日本で形成された学問である。初めに、①西洋建築技術の日本への移入を明治の黎明期から整理することを通して建築学成立の背景を理解した上で、②計画学成立の重要な位置を占める居住環境研究について時代を追って当時の人々の関心や議論の核心について整理する。後半では、「居住」をテーマに、住宅や施設の事例から計画を学ぶ。建築計画の表層的な知識を得るのではなく、計画することのできるバックボーンを得ることを講義の本質とする。</p>					
授業の計画	<p>第1回： 概論 建築計画と建築設計</p> <p>第2回： 風土と建築</p> <p>第3回： 文化と建築</p> <p>第4回： 計画のための調査</p> <p>第5回： 寸法の計画</p> <p>第6回： 空間の計画</p> <p>第7回： 動線の計画</p> <p>第8回： 居住系の計画</p> <p>第9回： 居住系の計画</p> <p>第10回： 事務業務系の計画</p> <p>第11回： 教育系の計画</p> <p>第12回： 教育系の計画</p> <p>第13回： 文化系の計画</p> <p>第14回： 福祉系の計画</p> <p>第15回： 総括 社会と建築</p>					
受講条件・関連科目	<p>受講条件： 建築計画Ⅰの受講経験が必要である。建築は、様々な領域の学問とかかわりあっています。学科の科目の他、共通の科目（例えば、心理学、社会学など）も積極的に受講、あるいは自主学習してください。</p>					
授業方法	通常講義。時間中、随時課題を出題する。講義の理解に必要なものなので確実に実践すること。					
テキスト・参考書	必要な資料は配布する。参考図書、課題図書は講義中随時指示するので注意すること。					
成績評価	・期末試験（80%） ・レポート（20%）・その他（講義中課題提出状況等）（0%） ・小テスト（ %）					
履修上の注意	計画Ⅰの履修経験が必要である。					